

# Happy Earth Day OSAKA 出店インタビュー pumpkin house



## ・お店の名前の由来について

緑の屋根と黄色の壁という、作業場であり自宅のデザインがかばちゃっぽいというところから pumpkin house と名付けました。当初は雑貨や家具などの販売をしており、自宅でのペン製作というのは実は後からになります。



について考えるきっかけを与えていただきました。ハッピーアースデイ当日、ペットボトルキャップを集める取り組みをされていたので、次回に向けて今でも家で集めています。

## ・こだわり・自慢ポイント

天然素材をそのまま活かしているところです。木の端材はほとんどが捨てられることが多いのですが、この端材を生かしているものやニスに合わせたものを作っていることを心がけています。高価の物を多く販売していますが、手ざわりにもこだわり、手になじみやすいものを作っています。また、木材は国産と外国産を合わせて五十種類以上使用しています。イベント出店時には、見栄えなども考え百二十本ほど常時並べています。手触りや色味、匂いなどは一本ずつ違っているので、ぜひ手に取って感じていただきたいです。

## ・ハッピーアースデイ大阪に参加しての感想

実は出店応募をさせていただく前年、お客さんとしてハッピーアースデイ大阪に参加したことがあり、当日の雰囲気を感じていく中で、ぜひ出店してみたいと考えていました。また、イベントに参加し出店させていただいたことで、日頃より環境

## ・アースデイで伝えたいこと

使い終われば捨ててしまうことが多いと思いますが、pumpkin house のペンの様にいつまでも使い続けられるものは大切に使用してほしいということを伝えていければいいなと思っています。



## ・モットー・信念

何年もボールペンを使っていただける様に、丁寧に作製することを一番心がけています。また、作っているうちに愛着がわくので、それを買っていただいたお客さんの顔はほとんど記憶しています。お財布を空っぽにしてまで、ご購入いただいた方などもおられました。やはり、買っていただくには質のよいものでないといけないので、そこは大切にしていきたいです。

## ・今後

もっともど色々なところで商品を知っていただくため、気になったイベントには積極的に出店していけたらなと思っています。また、ボールペンを使う機会が多いのは学生さん達のような若い方だと思うので、その方達にも手に取っていただきやすい様な工夫をもっとしていけたらなと思います。木で作ったペンは、経年変化などにより色が変わっていきます。パソコンやスマホを使うことの多い現代ですが、変化なども楽し

## ・おわりに

pumpkin house さんのペンに対する内に秘めた想いや情熱をひしひしと感じるインタビューとなりました。また、私たちが本当に温かく迎えていただき、終始和やかな雰囲気でも楽しくお話を聞かせていただくことができました。お忙しいところ快く取材を受けてくださいました三山さん、本当にありがとうございました。

みながら、ペンをもっと使っていたけり、どうれしいです。木工ベンづくりは、ペンを気に入ってご購入いただけるお客さんや、また買いたいと言っていただけるお客さんがいるので、細く長くあってもずっと続けていきたいと思ひます。また、時間はかかっても丁寧に想いを込めた作品をお客さんにお届けしていきたいです。

